

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-11 指令活動事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支 援 部 門					225	指令活動事業	
主管課	指令情報課 関連課					289	指令活動事業	
分野名	地域安全							
目標 (目標値)	火災・救急等の災害通報の受信から現場到着の所要時間の短縮を図る。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人 口	176,669人	176,484人					
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状 況	決算値	49,155千円	39,851千円			指標と評価		
	(国・県)	130千円				指標	災害通報	
	(負担金等)					評価	○	
	(一般財源)	49,025千円	39,851千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	13.0人	12.0人				目標値	実績値
	人件費	122,694千円	114,772千円			20年度	△	△
	協働の パートナー					21年度	○	○
事務事業 運営経費	総事業費	171,719千円	154,623千円			22年度	○	
	市民1人当 りの経費	972円	876円			23年度	○	
	対象者1人 当りの経費					最終年度 (年度)	○	
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 携帯電話からの119番通報に対し、通報者の位置情報が取得できるシステムの導入ができなかつた。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 平成21年度指令システムの部分更新を行い、携帯電話・IP電話位置情報システムを導入した結果、119番通報受信から災害現場の特定が容易に行うことができた。						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・固定電話からの119番通報は発信地の情報が得られず、災害現場の特定に時間を要することがあり、人命、災害の被害を軽減する観点から固定電話発信地表示システムの早期導入が必要である。 ・救急自動車現場到着するまでの時間は、年々遅延する傾向にあることから、119番通報時バイスタンダーに対する口頭指導プロトコルの確立が必要である。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・固定電話発信地表示システム早期導入に向け、関係各課と協議調整を図りたい。 ・三浦半島地区メディカルコントロール協議会で作成した「口頭指導プロトコルマニュアル」に沿って指導するとともに、同協議会口頭指導プロトコルワーキンググループ会議でマニュアルの精査を行っていきたい。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	今後も発信地表示等最新機器の導入を行い、業務遂行の向上を図りたい。			評価結果	改善の必要性	複雑多様化する各種災害に対処するため、多機能で最新鋭な指令機器の導入を図り、業務処理能力の向上を目指す。	
A	有				A	有		
課長名		原田健一			部名・部長名		消防本部 畑 光則	